

クエリー：テーブルの中の一部レコードを抽出したり、計算したり、分析したり、集計したり、あるいは表示を変えたりするときに用いる工具箱。

フォーム：テーブルに入力したり、テーブルやクエリーの結果を画面でみやすく見ると同時に使用します。

また、条件を入力したり、選択を行う際にも便利です。

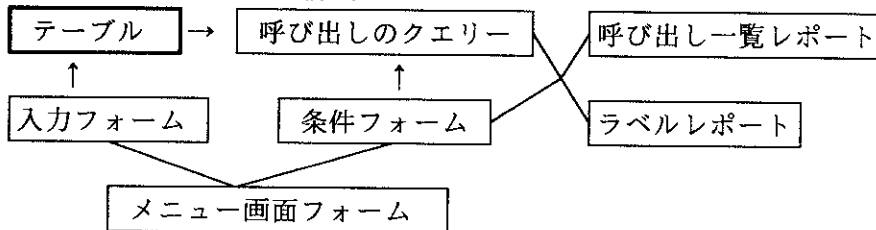
レポート：テーブルやクエリーを印刷する際に様式を定めます。

ラベルの印刷にも使用します。

マクロ：上記の4つのものを条件を付けて連結するプログラムです。

2 いちばん簡単な「呼び出し」（「結核接触者検診呼び出し」の検討の①）を作ります。

(1) 作りたいプログラムの構成

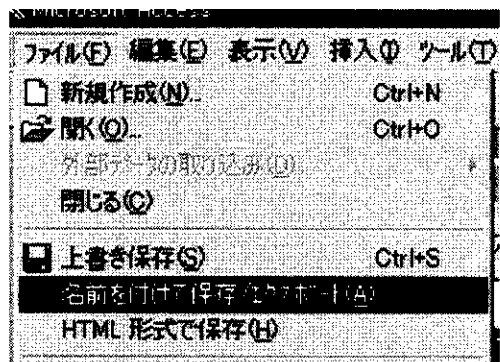


(2) テーブルの作成

テーブル画面 → 新規作成 → デザインビュー  
 フィールド名を入力、データ型をリストから選びます。  
 必要に応じ、フィールドサイズを設定します。1フィールドは半角です。

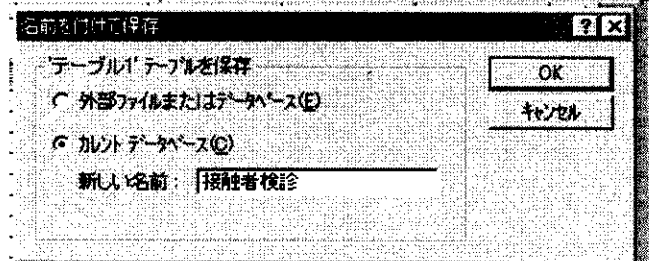
フィールド名	データ型
接触者氏名	テキスト型
ID	オートナンバー型
性別	テキスト型
生年月日	日付/時刻型
患者名	テキスト型
関連	テキスト型
郵便番号	テキスト型
住所1	テキスト型
住所2	テキスト型
電話番号	テキスト型
前回検診日	日付/時刻型
検診項目	テキスト型
結果	テキスト型
検診予定日	日付/時刻型
予定検診項目	テキスト型
	テキスト型
	死型
	数値型
	日付/時刻型
	通貨型
	オートナンバー型
	Yes/No型
	OLE オブジェクト型
	ハイパーリンク型
	ルックアップ/ウィザード...
標準	ルックアップ*
フィールドサイズ	50
書式	
定型入力	
標籤	
既定値	
入力規則	
エラーメッセージ	

ファイル → 名前をつけて保存



カレントデータベースで新しい名前を付けます。

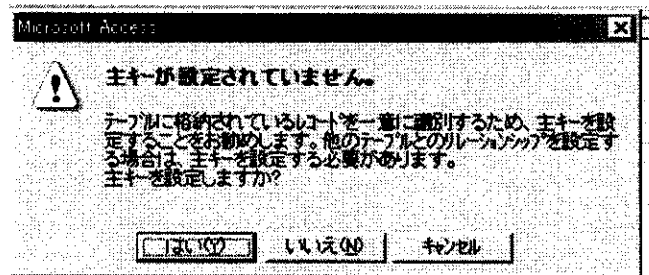
例：接触者検診



主キーを設定します。 はい

ID が自動的に主キーに設定されます。


「X」で接触者検診を閉じます。



## (2) 入力フォームの作成

フォーム画面 → 新規作成  
→ オートフォーム：単票形式 →  
基になるテーブルで接触者検診を  
選択

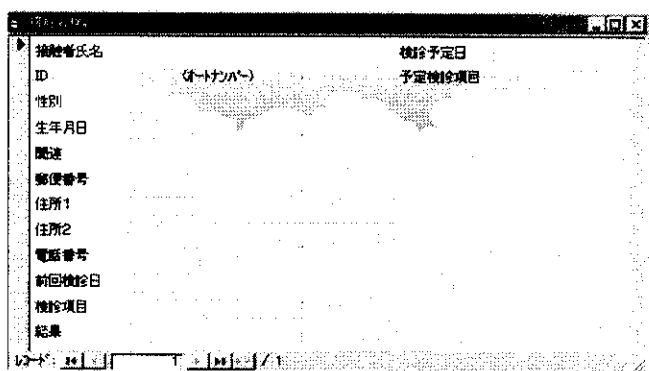
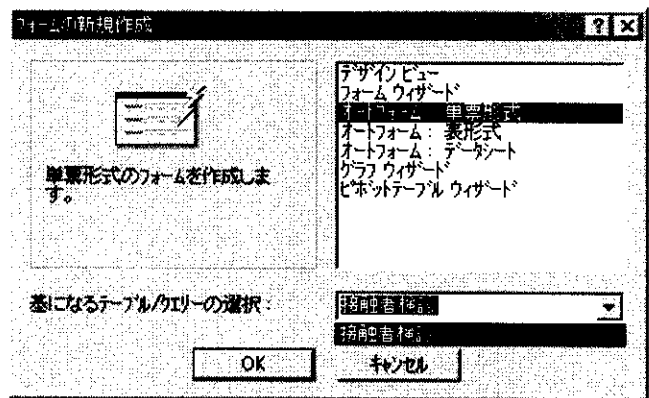
(自動的にフォームを作るプログラム  
です。)

大きさや柄が気に入らなければ、  
 を押し、デザインフォームにし  
て修正します。

(とりあえず、そのまま)

ファイル → 名前を付けて保存  
→ カレントデータベースで名前を  
付けて保存。

例：入力フォーム



入力してみてください。

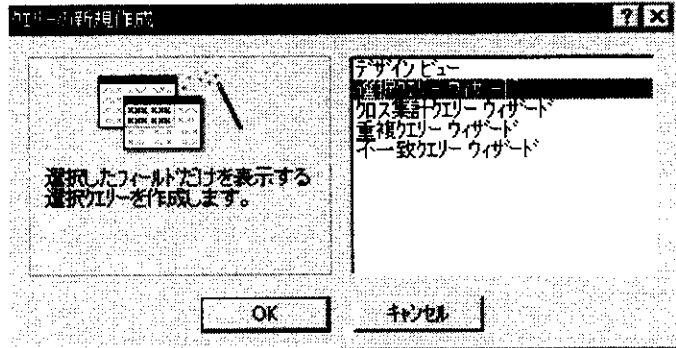
そのあと、テーブルを開くと入力されています。

検査者氏名	結果
検査者氏名	異常なし
ID	1
性別	男
生年月日	50/01/18
患者名	平田 和夫
関連	子供
郵便番号	841-0205
住所1	泰山町
住所2	けやき台3-16-1
電話番号	0942-92-1107
前回検診日	99/01/01
検診項目	X-P

検査者氏名	ID	性別	生年月日	患者名	関連	郵便番号	住所1	住所2	電話番号
検査者氏名	1	男	50/01/18	平田 和夫	子供	841-0205	泰山町	けやき台3-16-1	0942-92-1107

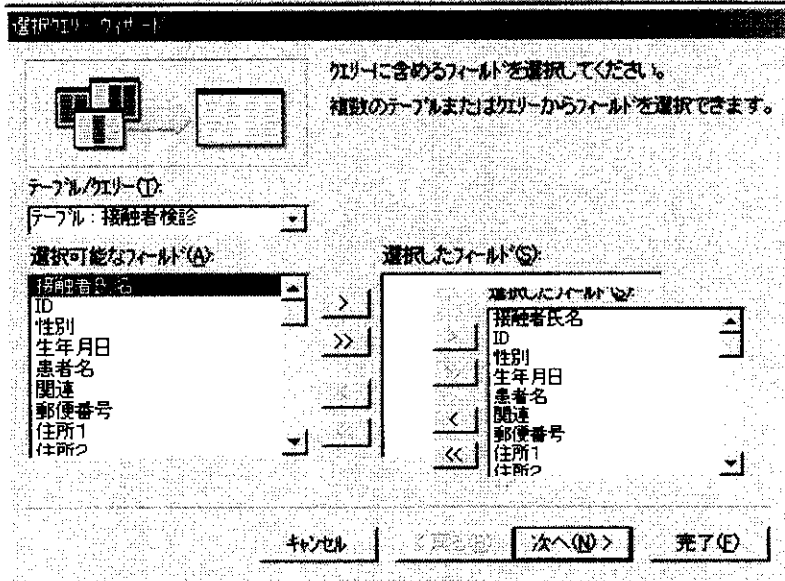
(3) 呼び出しクエリーの作成

クエリー画面で新規作成 →  
 選択クエリーウィザード → OK



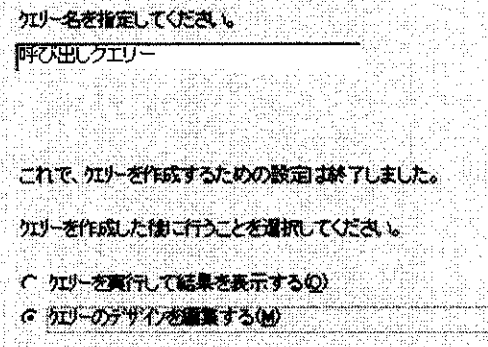
>> を押し、全てを選択。

→ 次へ




クエリー名を入力  
 例：呼び出しクエリー

→ クエリーのデザインを編集するをチェック  
 → 完了



クエリーのデザインビューになるので、  
 フィールドの「検診予定日」の抽出条件を  
 例： >Date() と記入  
 (これは今日を示す文字。明日以降のもの  
 だけ抽出される。)

 データビューのボタンを  
 押すと抽出結果が現れる。

例を >#2000/2/1# 、>#1999/12/1# and <#2000/2/1# などいろいろ変えてみよう。  
 (# は年月日を認識するための記号)

フィールド	前回接触	検診予定日	予定
テーブル	接触者	接触者検診	接触
並べ替え			
表示		<input checked="" type="checkbox"/>	
抽出条件		>Date0	
または			

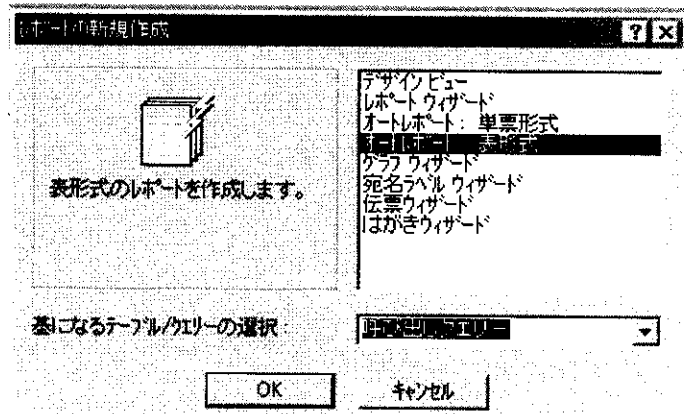
#### (4) 呼び出しクエリーの一覧レポートの作成

レポート画面で新規作成

オートレポート：表形式  
基になるクエリー

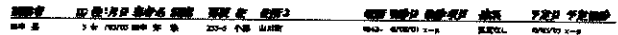
：呼び出しクエリー

→ OK



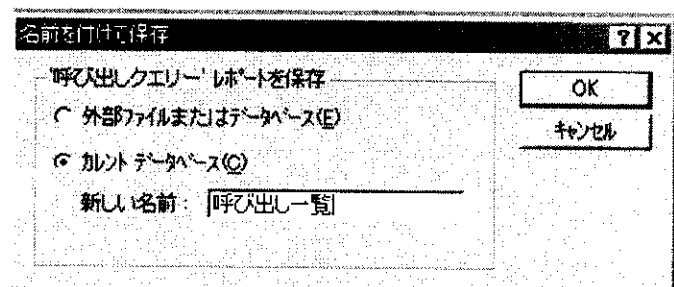
自動的に一覧表ができあがります。  
形を整えるのは後にして名前を付  
けましょう。

呼び出しクエリ



ファイル → 名前を付けて保  
存 で 名前を付けます。

例：呼び出し一覧

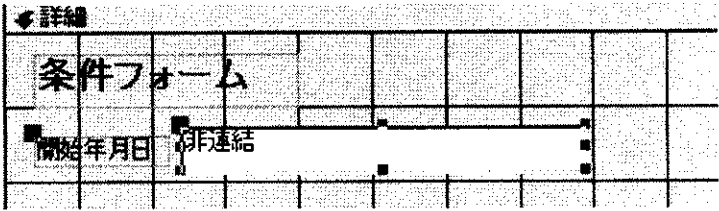


次回以降

- (5) ラベルの作成
- (6) 条件フォームの作成
- (7) メニュー画面の作成
- (8) マクロでの結合
- (9) フォームの改良
- (10) レポートの改良

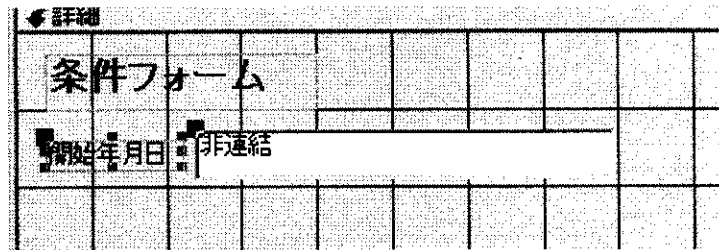


開始年月日はテーブルやクエリーとは連動していませんので非連結となっています。



\*上はボックス(入力する部分)に焦点(カーソル)が合っています。

下は、ラベルの部分にカーソルがあります。



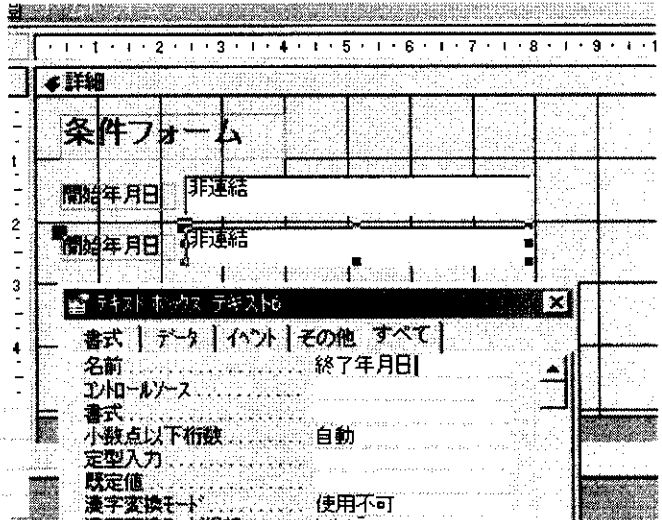
ボックスを消すとラベルは消えます。

しかし、ラベルを消してもボックスは消えません。

同じ操作で終了年月日を作成していただいても結構です。

他の方法としては、開始日のボックスに焦点を合わせ、右クリック → コピー → 再度右クリック → 張り付け 新たにできたボックスにカーソルを合わせ 右クリック → プロパティを選択 → すべてで 名前を 終了年月日 とします。

さらに 書式を日付(標準)にします。




コントロールソース	
書式	日付(標準)
小数点以下桁数	自動
定型入力	

また、ラベルも 終了年月日と書き換えます。

開始年月日	非連結
終了年月日	非連結

最後に 一覧表、ラベル印刷、戻る を出すための ボタンを作ります。

道具の中からコマンドボタン  を選び 押しします。 ボタン位置、サイズを決めるとコマンドボタンウィザードが表れます。





### (8)呼び出しクエリーの修正

条件フォームで入力した 開始年月日 終了年月日 が 呼び出しクエリー の抽出条件として反映されるように 呼び出しクエリー を修正します。

クエリー画面で 呼び出しクエリー をデザインビューで開きます。

フィールドの 検査予定日 の 抽出条件を次のように改めます。

>=[Forms]![条件フォーム]![開始年月日] And <=[Forms]![条件フォーム]![終了年月日]

さあ、これまであなたが作成したプログラムがうまく動くかためてみましょう。

条件フォームを開き、開始年月日、終了年月日に年月日を 書き込んでください。

うまくレポートが、作成できましたか？

### (9)メニュー画面の作成


プログラムを起動させると自動的に初期画面（メニュー画面）が立ち上がり、ボタンを押すと入力フォームや条件フォームのをそれぞれのフォームに画面が移動するようにします。

フォーム画面 → 新規作成 → デザインビュー、基となるテーブルは なし → OK。



を押すといろんな道具が表れます。

これらを用いて画面を作成します。

①まず、タイトルを付けます。 （ラベル）を押し、さらに画面上でマウスの左ボタンを押し続けながらサイズを決めは左ボタンから指を離します。

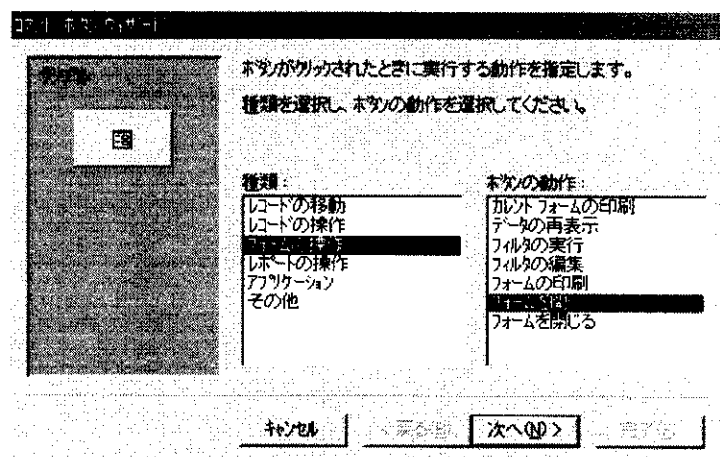
中に書き込む字を入力します。

例 メニュー画面

次に、コマンドボタン  を使用し、条件フォームや入力フォームに連絡するボタンを作成します。

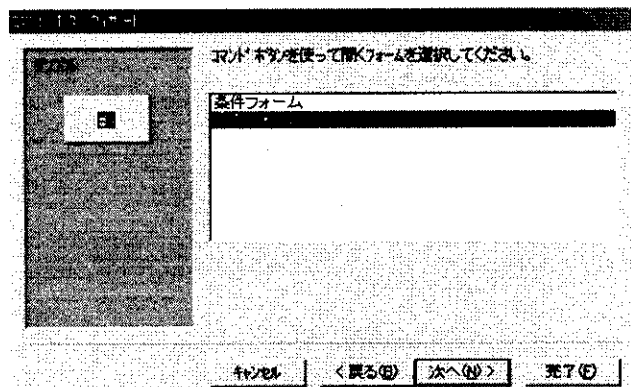
条件フォーム作成時のコマンドボタンと同様ですが、実行動作指定が、フォームの操作 → フォームを開く に変わります。

→ 次へ



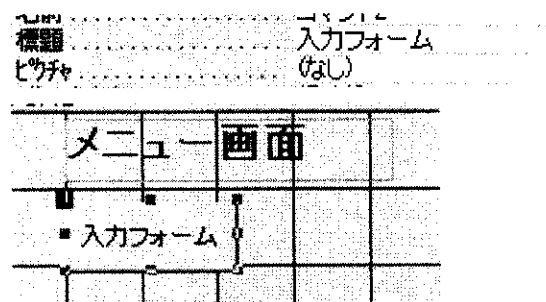
入力フォームを選択。

→ 完了



ボタンのプロパティで 標題を変更、ピクチャーを消します。

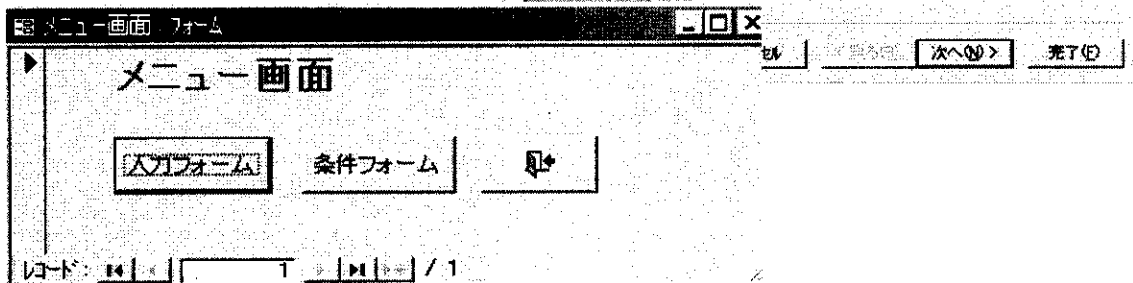
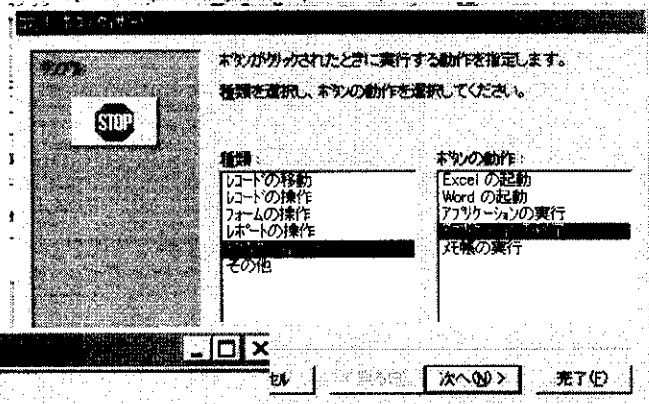
右図のような 形になります。  
条件フォームのボタン。  
終了のボタンを作ってください。



終了ボタンは アプリケーション  
→ アプリケーションの終了です。

名前を付け、保存してください。

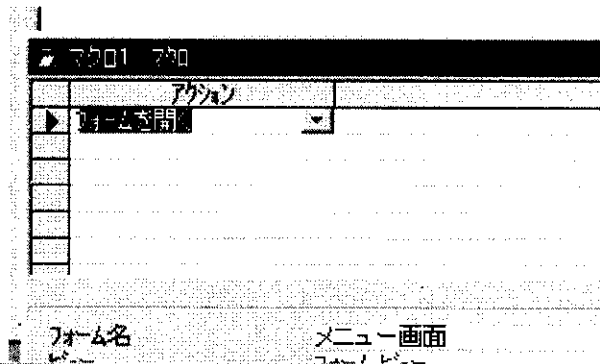
例 メニュー画面



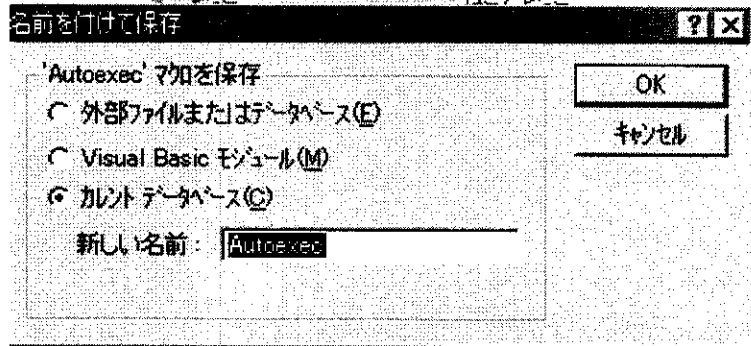
#### (10) 自動立ち上げ

次に、結核練習 のファイルを開くと自動的にメニュー画面が立ち上がりようになります。

マクロ画面で新規作成  
フォームを開く。  
フォーム名は、メニュー画面



マクロ名は、  
Autoexec です。  
必ず半角で！



さあ、一度ファイルを閉じて再度立ち上げてください。

テーブルを検診4回まで記入できるように作り替えて、同じような作業を行います。

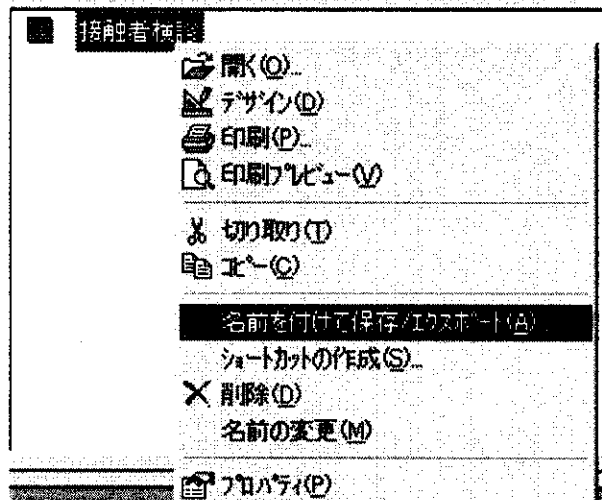
\*予定日は実施後は検診日に置き換えます。

実施結果は、必ず入力します。

(1) テーブルの作成

前に作成したテーブル 接触者検診を改正したいと思います。

まず、接触者検診 と内容の同じ別名のテーブルを作成します。

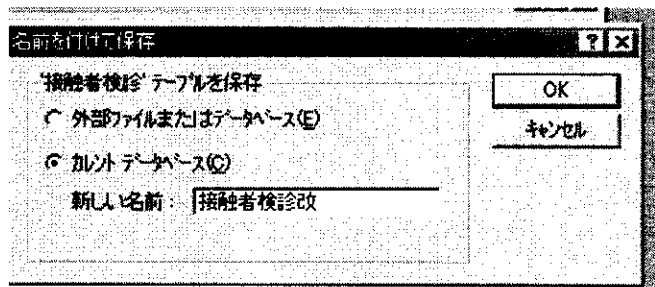


カレントデータベース

名前の例示 接触者検診改

→ OK

\*改良型については最後に「改」の文字を付けます。



接触者検診改のデザインビュー で  
検診予定、検診項目、呼び出しの部分をも4回に分けるとともに、最終的な 転帰  
とコメントの欄を 作りました。

何回呼びだしても来ないためあきらめた場合、  
移転した場合等を記入し、呼び出しの対象から外すためのものです。

郵便番号	テキスト型
住所1	テキスト型
住所2	テキスト型
電話番号	テキスト型
1回検診日	日付/時刻型
1回検診項目	テキスト型
1回結果	テキスト型
2回検診日	日付/時刻型
2回検診項目	テキスト型
2回結果	テキスト型
3回検診日	日付/時刻型
3回検診項目	テキスト型
3回結果	テキスト型
4回検診日	日付/時刻型
4回検診項目	テキスト型
4回結果	テキスト型
転帰	テキスト型
コメント	テキスト型

(2) 呼び出しクエリー改の作成

接触者氏名、1回検診日、2回検診日、3回検診日、4回検診日、結果のクエリーを作成します。

条件フォーム改 で指定した検診予定日（検診が済んだ後は検診日）を入力し、ボタンを押すと 呼び出しクエリー改 が 働くようになります。

クエリーの抽出条件を考えます。

抽出条件1行目

: 第1回検診日

>=[forms]![条件フォーム改]![開始年月日] And <=[forms]![条件フォーム改]![終了年月日]

: 第1回検診結果

Null (空白である)

抽出条件2行目

: 第2回検診日

>=[forms]![条件フォーム改]![開始年月日] And <=[forms]![条件フォーム改]![終了年月日]

: 第2回検診結果

Null (空白である)

抽出条件3行目

: 第3回検診日

>=[forms]![条件フォーム改]![開始年月日] And <=[forms]![条件フォーム改]![終了年月日]

: 第3回検診結果

Null (空白である)

抽出条件4行目

: 第4回検診日

>=[forms]![条件フォーム改]![開始年月日] And <=[forms]![条件フォーム改]![終了年月日]

: 第4回検診結果

Null (空白である)

## (2) 入力フォームの作成

それぞれで作成してみてください。 フォーム名の例：入力フォーム改

**入力フォーム(改)**

検診者氏名	XXXXXXXXXX	ID	1
性別	男	患者名	平田 和夫
生年月日	50/01/10	職業	子供
郵便番号	841-0205		
住所	基山町		1-16-1
電話番号	0942-92-1107		
	年月日	検診項目	結果
1回	99/01/01	X-P	異常なし
2回	00/01/01	X-P	
3回			
4回			
備考			
コメント			

(3) 呼び出しフォームの作成

呼び出し対象者をみると同時にデータの追加・修正を行うために作成します。

患者氏名	1回検診日	検診項目	結果	2回検診日	検診項目	結果	3回検診日	検診項目	結果	4回検診日	検診項目	結果	影
	99/01/01	X-P	異常なし	00/01/01	X-P								
山口 一郎	98/04/04	X-P	異常なし	99/02/02	X-P								
田中 秀子	98/06/01	X-P	異常なし	00/03/03	X-P								
武田 英也	98/06/01	X-P	異常なし										
*													

(4) 条件フォームの作成

条件フォームは前のものが概ね使えますが、ボタンは作り替えが必要です。

フォーム名の例：

条件フォーム改

### 条件フォーム改

開始年月日

終了年月日

(5) 定型入力については リストボックス を利用しましょう。

例：検査項目      X-P  
                              ツ反  
                              X-P,ツ反  
 検査結果        NP,追跡  
                              NP,終了

呼吸器 予定(1)

発症年月日	患者氏名	接触者氏名	発症年月	保健所実施		その他実施		結果	次回予定年月日
				問診	7反	問診	7反		

1999年11月

登録番号	登録月日	患者氏名	接触者氏名	住所	電話

危険度指数  
重軽度  
予定日  
検査結果

1999年12月

登録番号	登録月日	患者氏名	接触者氏名	住所	電話

番号	氏名	年齢	患者との続柄	患者氏名	住所	世帯主	郵便番号	検査予定日	検査項目	
									X線	ツ反

接触者氏名	住所	問診番号	発症年月日	患者氏名	患者住所	検査日	結果		医師 氏名	検査所
							X-P	7反		

あつた結果を  
統計的に分析して見ると

検査予定年月	患者氏名	重要度	検査方法	検査結果	検査履歴	郵便番号	住所	氏名	年齢	電話番号	職業 会社名	会社電話番号

登録番号	接触者氏名	年	住所	患者氏名	関係	方法	検査予定日							
							初回	1回	2回	3回	...			

検査予定日	患者氏名	住所	A+B+C		A		B		C	
			家族接触者 対患者数	家族接触者 所外接触	家族接触者 中学生まで	家族接触者 中学生まで	家族接触者 高校生以上	家族接触者 高校生以上		
			(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)

登録番号	登録年月日	氏名	年齢	関係	患者氏名	住所	検査予定日	結果	今後の対応

呼吸器(2)

対象月の種別

検診日	登録者名	検診回数	検診対象者	性別	年齢	続柄	検診内容	結果	今後の定期外検診予定
									継続(次回)・終了
									継続(次回)・終了

登録番号	氏名	年齢	患者氏名	住所	連絡先	検診予定日	内容	感染危険度 何回目( )

登録番号	氏名	年齢 (生年月日)	患者氏名	住所	検診予定日	検診項目

↑  
(訂正)

登録番号	登録年月日	氏名	年齢	住所	患者氏名	検診予定日

対象者氏名	住所 TEL	年齢(生年月日)	性別	検診日( )回目	検診内容	結果	所属(続柄)	検診実施機関
				( )				
				( )				
				( )				

登録者名	登録日	感染危険度指数

登録番号	患者氏名	検診者氏名	患者との関係	直前から2か月以内		登録後0~14か月		登録後15~24か月		備考
				実施日	結果	実施日	結果	実施日	結果	

※ 継続の留不費を  
入力し要領を

直前24月の古14月





対象者数	受診者数				判定結果			
	保健所 実施分	委託医療機 関実施分	その他	計	受診 率	患者 数	発病の恐れありと 診断されたもの	初

検診内容

イ 患者家族		
	種別	実施延人員
保 健 所 実 施 分	ツベルクリン	
	間接レンズ	
	70mm ミラー	
	100mm ミラー	
	直接撮影	
	特殊撮影	
	断層撮影	
	血沈検査	
	喀痰検査	
	BCG接種	
実施連絡		

イ 患者家族		
	種別	実施延人員
医 療 機 関 委 託 分	受診 (初診)	
	ツベルクリン	
	間接撮影	
	直接撮影	
	特殊撮影	
	断層撮影	
	血沈検査	
	喀痰検査	
	精検要指導件数	
	普通検診	
BCG接種		

T患者家族履歴

健診履歴 (回数)

健診実施機関名

- 1 久留米保健所
- 2 その他

医療機関名

健診基準年月 (登録年月日)

健診年月日

重要度

- 1 最重要 2年間 (4回)
- 2 重要 1年間 (3回)
- 3 その他 直後 (1回)

健診方法

- 1 胸部X線  
1直接 2 間接 3 特殊撮影 4 断層撮影  
(学会分類)
- 2 ツ反 (発赤の大きさ、性状)
- 3 BCG
- 4 喀痰検査 (塗抹、培養)
- 5 血沈検査
- 6 精検要指導件数
- 7 普通検診
- 8 実施連絡
- 9 その他

加池自例

結果1

- 1 異常なし
  - 1 経過観察  
次回予定年月 (何ヶ月後を入力)
  - 2 観察終了 (登録除外へ)
- 2 異常あり
  - 1 経過観察  
次回予定年月 (何ヶ月後を入力)
  - 2 医療機関紹介  
紹介医療機関名  
医師名

結果2

- 1 異常なし (上の結果に戻る)
- 2 異常あり

病名

- 1 結核
- 2 マル初
- 3 その他 (病名入力)

患者登録番号 (1 or 2 の場合)

登録者番号

登録年月日 (健診基準年月)

患者登録番号

患者氏名

患者登録年月日

患者との関係

- 1 家族 (同居を含む)
- 2 親戚 (濃厚)

氏名

カナ

性別

生年月日

市町村番号

郵便番号

住所

電話

職業

登録者番号

登録年月日 (健診基準年月)

患者登録番号

患者氏名

患者との関係

- 1 親戚 (あまり行き来がない)
- 2 友人 (隣人)
- 3 会社関係
- 4 その他

氏名

カナ

性別

生年月日

市町村番号

郵便番号

住所

電話

職業

結果(3)

健診予 定年月	患者 氏名	重要 度	健診 方法	検診 結果	健診 履歴	郵便 番号	住所	氏名	年齢	電話 番号	職業 会社名	会社電 話番号

(1) 毎月の患者接触者検診対象呼び出し一覧

登録番号	氏名	年齢	患者氏名	住所	連絡先	検診予定日	内容	感染危険度 何回目(

(2) 1年間の検診状況(集計表)

新規患者数	市町村別	接触者対象数		受診者数		検診結果	
		Xp数	ツ反数	Xp数	ツ反数	要精密者数	治療数

(3) 接触者一覧

登録番号	患者氏名	接触者氏名	重要度	検診状況・結果				備考
				直後	2M	8-14M	15-24M	
			最重要					
			重要					
			その他					

呼び出しと基本は同一

登録者	続柄	対象者	性別	年齢	検診日	検診回数	検診内容	結果	今後の定期外検診予定
									継続(次回)・終了
									継続(次回)・終了

出力表 過去一年間の接触者検診の状況(件数・結果・検診部門等)

検診部門	人数	年齢	性別	検診回数	検診内容	検診結果	検診部門

出力表 過去一年間の接触者検診者の状況(件数、結果等)

対象者数	受診者数				判定結果		
	保健所 実施分	委託医 療機関	その他	計	患者数	発病の恐れ ありと診断 されたもの	初

結核(4)

10 結核予防

平成 年度分

検査種別	検査番号	検査項目										検査結果	検査機関	検査日	検査場所	検査費用
		検査項目														
		小1	小2	中1	中2	高1	高2	高3	その他	検査回数	検査結果					
結核検査	(001)															
結核検査	(002)															
結核検査	(003)															
結核検査	(004)															
結核検査	(005)															
BCG接種記録	(006)															
結核検査	(007)															
結核検査	(008)															
結核検査	(009)															
結核検査	(010)															
結核検査	(011)															

定期検診に1回と55%

接触者検診の状況表

患者氏名	氏名	年齢	住所	検診期	1期	2期	3期	備考

終了した場合は備考に「終了」と入力していただく。